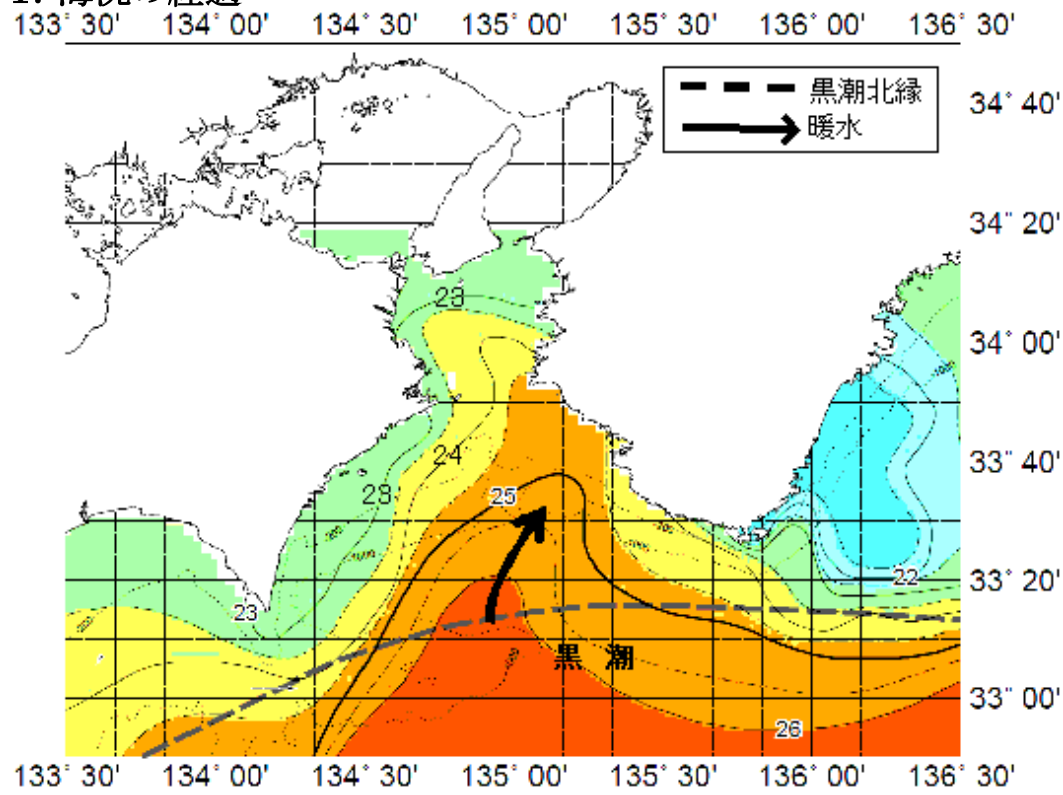


1. 海況の経過



海況

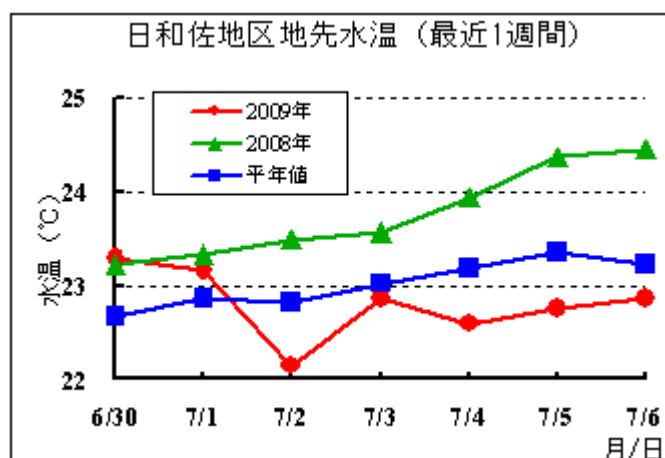
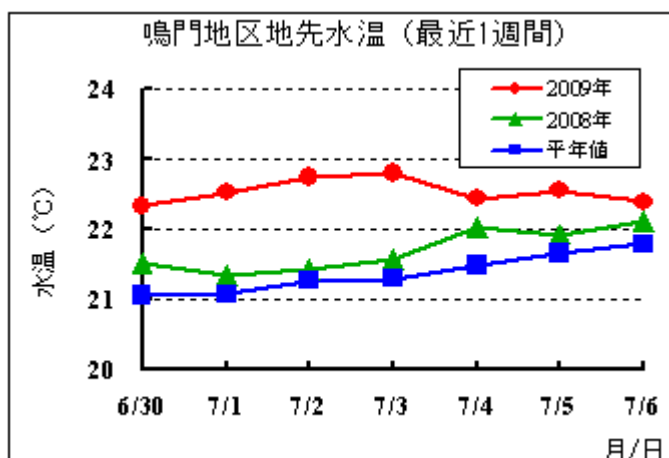
上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.7.6)を示した。黒潮は、室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、都井岬沖と足摺岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は24～26℃台である。表面水温は播磨灘が22℃台、紀伊水道が22～24℃台、紀伊水道外域が22～25℃台である。海部沿岸は、22℃台の内海系水に覆われている。紀伊水道外域では、和歌山県側に向けて暖水の波及があり一部は紀伊水道内に達している。紀伊水道・海部沿岸の沖合では、黒潮系暖水と内海系水の潮目が形成されている。漁業調査船「とくしま」が7月2日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層～20m層では「平年並み」の20.7～23.4℃、30m層では「やや低め」の18.5℃であった。

播磨灘海区観測結果 (観測日 2009/7/2)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	23.4	21.5	20.7	18.5	今年値	32.5	32.9	32.8	32.8
平年偏差	0.4	0.3	0.1	-1.2	平年偏差	0.9	1.0	0.8	0.7
前年偏差	-0.6	-0.1	-0.5	-1.7	前年偏差	0.6	0.9	0.8	0.8

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の22.3～22.8℃、日和佐地区は「やや低め」～「やや高め」の22.2～23.3℃、牟岐地区は「やや低め」～「平年並み」の22.2～23.0℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

**延縄:**海部沿岸で、中主体にアカムツが0.3トン(1日1隻当たり38kg)水揚げされた。

**小型定置網:**海部沿岸で、ウルメイワシが3.3トン(同220kg)、カタクチイワシが0.2トン(同21kg)、トビウオ類が0.4トン(同13kg)、マアジが2.1トン(同142kg)水揚げされた。

**大型定置網:**海部沿岸で、大・中主体にイサキが1.8トン(同196kg)、小主体にイボダイが0.3トン(同47kg)、中主体にゴマサバが0.9トン(同128kg)、大主体にシイラが1.1トン(同98kg)、小主体にマアジが13.3トン(同1,208kg)水揚げされた。

**釣り:**紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.9トン(同18kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 6月30日～7月5日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	8	302	38	中主体
小型定置網		ウルメイワシ	15	3,301	220	
		カタクチイワシ	10	209	21	
		トビウオ類	28	355	13	
		マアジ	15	2,129	142	
		イサキ	9	1,761	196	大・中主体
大型定置網		イボダイ	7	332	47	小主体
		ゴマサバ	7	893	128	中主体
		シイラ	11	1,073	98	大主体
		マアジ	11	13,286	1,208	小主体
釣り	紀伊水道	タチウオ	52	922	18	特大主体

### 特異事項:

漁業調査船「とくしま」が行ったクラゲ調査によると、表層のアカクラゲとミズクラゲは播磨灘で多く、紀伊水道北部では少なかった。

### 週間予報:

黒潮は、室戸岬で「やや離岸」、潮岬では「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の22℃台、日和佐地先で「やや低め」の23℃台で推移する見込み。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上